



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

定時株主総会開催予定日 2020年6月23日

配当支払開始予定日 2020年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	75,447	△10.8	4,329	△12.4	5,862	17.2	3,476	4.8
2019年3月期	84,614	1.4	4,945	△18.4	5,001	△15.2	3,318	△8.8

(注) 包括利益 2020年3月期 3,925百万円 (5.3%) 2019年3月期 3,728百万円 (△13.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	424.53	—	10.2	10.3	5.7
2019年3月期	410.64	—	10.6	8.7	5.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	56,004	40,361	63.3	4,328.49
2019年3月期	57,396	37,053	57.1	4,029.90

(参考) 自己資本 2020年3月期 35,452百万円 2019年3月期 32,754百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	12,070	△2,792	△6,421	4,292
2019年3月期	6,356	△1,910	△3,804	1,437

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	531	14.6	1.5
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00	617	16.5	1.7
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当性向については現時点で業績の適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。
2020年3月期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭(創業100周年記念配当)

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,867,000 株	2019年3月期	8,867,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	676,604 株	2019年3月期	739,204 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	8,189,927 株	2019年3月期	8,080,028 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,119	2.7	495	22.3	944	8.8	780	△26.0
2019年3月期	1,089	1.2	405	32.5	868	99.1	1,055	318.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	95.32	—
2019年3月期	130.62	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	17,896		15,306		85.5		1,868.78	
2019年3月期	17,499		15,281		87.3		1,880.20	

(参考) 自己資本 2020年3月期 15,306百万円 2019年3月期 15,281百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、2019年11月に中国湖北省武漢で新型コロナウイルス感染症がアウトブレイクし、瞬く間に世界各国へ感染拡大しました。各国政府は、人の移動を規制しました。我が国経済は、2019年10月に、消費税率が10%に引き上げられ、個人消費は減速しました。また、輸出と生産は弱含みで推移しました。労働力市場は逼迫したままで、実質的な完全雇用の状態にありました。当社グループ（当社および連結子会社）の主要原材料である銅の建値は、コロナショックにより、2020年3月末には、1トン58万円まで下落しました。

このような経営環境のもと、当社グループの連結業績については、伸銅事業の販売量が、住宅・建設や、電気・電子機器などの分野での需要低迷により減少したため、売上高は754億47百万円（前年同期比10.8%減少）となり、営業利益は銅相場下落に伴う相場差損の発生で43億29百万円（同12.4%減少）となりました。経常利益は銅の価格が下落したことで、相場リスクをヘッジするためのデリバティブ取引で利益が発生したため58億62百万円（同17.2%増加）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は34億76百万円（同4.8%増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

伸銅

伸銅事業では、住宅・建設向けや、電気・電子機器向けなどの分野で需要が低迷し、また主要原材料である銅の価格が下落基調にあったことなどにより、販売量は9万8,288トン（前年同期比7.2%減少）、売上高は614億91百万円（同13.3%減少）となり、銅価格下落に伴う相場差損が発生したため、セグメント損益は26億68百万円（同15.2%減少）のセグメント利益となりました。

精密部品

精密部品事業では、レンズ交換式カメラに使用されるカメラマウントの需要が低迷したため、売上高は38億39百万円（前年同期比11.0%減少）、セグメント損益は、80百万円のセグメント損失（前年同期はセグメント利益2億27百万円）となりました。

配管・鍍金

配管・鍍金事業では、ハウジング型継手や、管端つば出し加工機や、管端めっき除去装置の販売が好調だったため、売上高は101億16百万円（前年同期比7.5%増加）となり、セグメント損益は、14億5百万円（同6.2%増加）のセグメント利益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、主に現金及び預金が28億55百万円、建物及び構築物（純額）及び建設仮勘定が19億24百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が41億66百万円、たな卸資産が22億88百万円減少したため、前連結会計年度末に比べ13億91百万円減少し、560億4百万円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等が7億11百万円増加したものの、短期借入金が59億円減少したため、前連結会計年度末に比べ46億99百万円減少し、156億43百万円となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ33億7百万円増加し、403億61百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、短期借入金の減少や仕入債務の減少、配当金の支払額による支出等があったものの、税金等調整前当期純利益を59億73百万円計上し、減価償却費の計上、売上債権やたな卸資産の減少による収入等があったため、前連結会計年度末に比べ28億55百万円増加し、当連結会計年度末には42億92百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は120億70百万円（前年同期比57億14百万円収入の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益59億73百万円、減価償却費16億30百万円、売上債権の減少額41億55百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は27億92百万円(前年同期比8億81百万円支出の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が27億7百万円(前年同期比12億43百万円の支出の増加)であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は64億21百万円(前年同期比26億17百万円支出の増加)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出が59億円(前年同期比27億60百万円支出の増加)、配当金の支払額が5億31百万円(前年同期比1億32百万円の支出の減少)であったことによるものです。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、消費や企業の経済活動が停滞する状況が続いています。当社グループにおいても、需要の減少により、今後、販売量が落ち込み、生産調整のために工場を臨時休業することも懸念されます。しかしながら、現時点では、収束時期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は利益配分につきましては、業績に応じた適正な利益配分を安定的に行なうことを基本方針としております。このことは、当社の関係するすべてのステークホルダーの長期的な利益とも合致するものと認識しております。

株主配当につきましては、自己資本比率の向上を図りつつ、業績に応じた配当を行うよう努力をいたす所存であります。

配当金につきましては、当期は1株当たり70円(中間配当30円、期末配当40円、うち記念配当10円)とさせていただきます。また、次期につきましては、中間配当30円、期末配当30円、合計60円を予定いたしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,437	4,292
受取手形及び売掛金	23,094	18,927
商品及び製品	4,961	4,599
仕掛品	5,087	4,393
原材料及び貯蔵品	5,034	3,802
前払費用	47	60
その他	476	724
貸倒引当金	△83	△52
流動資産合計	40,054	36,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,337	11,741
減価償却累計額	△5,162	△5,496
建物及び構築物 (純額)	5,175	6,244
機械装置及び運搬具	21,331	22,089
減価償却累計額	△18,805	△19,723
機械装置及び運搬具 (純額)	2,526	2,365
土地	6,603	6,673
建設仮勘定	426	1,281
その他	1,631	1,873
減価償却累計額	△1,426	△1,560
その他 (純額)	204	313
有形固定資産合計	14,936	16,877
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	318	382
その他	17	27
無形固定資産合計	336	410
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307	1,059
退職給付に係る資産	23	21
繰延税金資産	676	799
その他	63	90
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,069	1,969
固定資産合計	17,341	19,257
資産合計	57,396	56,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,460	5,784
短期借入金	7,600	1,700
未払金	540	816
未払費用	807	777
未払法人税等	507	1,218
未払消費税等	229	278
賞与引当金	941	1,029
設備関係支払手形	465	1,057
その他	643	730
流動負債合計	18,195	13,392
固定負債		
長期借入金	42	—
繰延税金負債	349	337
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,226	1,336
その他	248	296
固定負債合計	2,147	2,250
負債合計	20,342	15,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,340	4,340
利益剰余金	25,877	28,822
自己株式	△769	△843
株主資本合計	32,204	35,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	△149
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△36	△38
退職給付に係る調整累計額	△9	△1
その他の包括利益累計額合計	549	375
非支配株主持分	4,299	4,909
純資産合計	37,053	40,361
負債純資産合計	57,396	56,004

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	84,614	75,447
売上原価	75,483	66,853
売上総利益	9,130	8,593
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	1,061	1,028
給料及び手当	1,057	1,064
役員報酬	431	478
退職給付費用	24	28
貸倒引当金繰入額	0	3
その他	1,610	1,661
販売費及び一般管理費合計	4,185	4,264
営業利益	4,945	4,329
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	25	28
デリバティブ利益	33	1,078
デリバティブ評価益	—	235
業務受託料	49	49
受取保険金	74	37
その他	189	173
営業外収益合計	375	1,604
営業外費用		
支払利息	11	4
デリバティブ損失	126	—
デリバティブ評価損	92	8
クレーム補償費	28	29
売上割引	10	8
その他	49	21
営業外費用合計	318	71
経常利益	5,001	5,862
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	91	133
特別利益合計	96	134
特別損失		
固定資産除却損	4	23
固定資産売却損	38	—
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	43	23
税金等調整前当期純利益	5,055	5,973
法人税、住民税及び事業税	1,476	1,905
法人税等調整額	△273	△56
法人税等合計	1,203	1,849
当期純利益	3,852	4,124
非支配株主に帰属する当期純利益	534	647
親会社株主に帰属する当期純利益	3,318	3,476

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,852	4,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	△204
為替換算調整勘定	△9	△2
退職給付に係る調整額	△8	8
その他の包括利益合計	△124	△198
包括利益	3,728	3,925
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,202	3,303
非支配株主に係る包括利益	525	622

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,756	4,339	23,224	△856	29,464
当期変動額					
剰余金の配当			△664		△664
親会社株主に帰属する当期純利益			3,318		3,318
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				87	87
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	2,653	87	2,740
当期末残高	2,756	4,340	25,877	△769	32,204

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	127	565	△26	△1	664	3,786	33,915
当期変動額							
剰余金の配当							△664
親会社株主に帰属する当期純利益							3,318
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							87
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△97	—	△9	△8	△115	513	398
当期変動額合計	△97	—	△9	△8	△115	513	3,138
当期末残高	30	565	△36	△9	549	4,299	37,053

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,756	4,340	25,877	△769	32,204
当期変動額					
剰余金の配当			△531		△531
親会社株主に帰属する当期純利益			3,476		3,476
自己株式の取得				△205	△205
自己株式の処分				131	131
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	2,944	△73	2,871
当期末残高	2,756	4,340	28,822	△843	35,076

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	30	565	△36	△9	549	4,299	37,053
当期変動額							
剰余金の配当							△531
親会社株主に帰属する当期純利益							3,476
自己株式の取得							△205
自己株式の処分							131
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△179	—	△2	8	△173	609	436
当期変動額合計	△179	—	△2	8	△173	609	3,307
当期末残高	△149	565	△38	△1	375	4,909	40,361

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,055	5,973
減価償却費	1,418	1,630
有形固定資産除却損	4	23
有形固定資産売却損益 (△は益)	33	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△212	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	87
環境安全対策引当金の増減額 (△は減少)	△29	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	3	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	105	117
受取利息及び受取配当金	△28	△30
支払利息	11	4
売上債権の増減額 (△は増加)	1,858	4,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	372	2,276
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	26	△87
仕入債務の増減額 (△は減少)	△217	△655
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27	49
デリバティブ評価損益 (△は益)	92	△226
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	87	△43
その他	248	5
小計	8,821	13,252
利息及び配当金の受取額	28	30
利息の支払額	△11	△4
法人税等の支払額	△2,481	△1,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,356	12,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,464	△2,707
有形固定資産の売却による収入	17	1
無形固定資産の取得による支出	△106	△76
投資有価証券の取得による支出	△43	△49
投資有価証券の売却による収入	0	10
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△315	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,910	△2,792

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,140	△5,900
長期借入金の返済による支出	△237	△42
自己株式の処分による収入	248	269
自己株式の取得による支出	△0	△205
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△663	△531
非支配株主への配当金の支払額	△11	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,804	△6,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	635	2,855
現金及び現金同等物の期首残高	801	1,437
現金及び現金同等物の期末残高	1,437	4,292

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「伸銅」は、主に住宅関連、家電向け、自動車向け部品用素材である黄銅棒・黄銅線・黄銅管を生産しております。「精密部品」は、カメラマウント・フレアナット・ザルボ等を生産しております。「配管・鍍金」は、主に住宅向け鉄管継手を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	伸銅	精密部品	配管・鍍金	
売上高				
外部顧客への売上高	70,889	4,315	9,409	84,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,894	65	9	3,969
計	74,784	4,380	9,419	88,583
セグメント利益	3,146	227	1,323	4,696
セグメント資産	44,968	3,040	7,950	55,959
その他の項目				
減価償却費	940	169	308	1,418
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,312	172	515	2,000

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,696
セグメント間取引消去	789
全社費用	△541
連結財務諸表の営業利益	4,945

(単位：百万円)

資産	金額
報告セグメント計	55,959
全社資産 (注)	1,437
連結財務諸表の資産合計	57,396

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び管理部門に係る資産であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費	1,418	—	1,418
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,000	—	2,000

Ⅱ 当連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「伸銅」は、主に住宅関連、家電向け、自動車向け部品用素材である黄銅棒・黄銅線・黄銅管を生産しております。「精密部品」は、カメラマウント・フレアナット・ザルボ等を生産しております。「配管・鍍金」は、主に住宅向け鉄管継手を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	伸銅	精密部品	配管・鍍金	
売上高				
外部顧客への売上高	61,491	3,839	10,116	75,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,541	62	11	3,614
計	65,032	3,901	10,127	79,062
セグメント利益又は損失 (△)	2,668	△80	1,405	3,992
セグメント資産	40,263	2,683	8,763	51,711
その他の項目				
減価償却費	991	234	403	1,630
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	2,146	233	1,275	3,655

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,992
セグメント間取引消去	820
全社費用	△483
連結財務諸表の営業利益	4,329

(単位：百万円)

資産	金額
報告セグメント計	51,711
全社資産 (注)	4,292
連結財務諸表の資産合計	56,004

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び管理部門に係る資産であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費	1,630	—	1,630
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	3,655	—	3,655

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,029円90銭	4,328円49銭
1株当たり当期純利益金額	410円64銭	424円53銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	37,053	40,361
純資産の合計額から控除する金額 (百万円) (うち非支配株主持分)	4,299 (4,299)	4,909 (4,909)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	32,754	35,452
期末株式数 (株)	8,127,796	8,190,396

(注) 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,318	3,476
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,318	3,476
期中平均株式数 (株)	8,080,028	8,189,927

(注) 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式のうち、従業員持株会信託型ESOPと取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度で使用する株式数については「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度738千株、当連結会計年度609千株)。

また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度785千株、当連結会計年度667千株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。